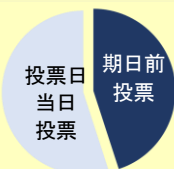


投票環境整備計画(案)の概要

市の状況 〈計画(案)策定の背景〉

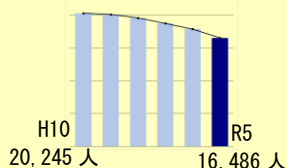
▶働き方や余暇の過ごし方の多様化等による影響で期日前投票の利用が増えています。

※令和4年執行の参議院議員通常選挙では、約45%の方が期日前投票をしています。



▶人口減少により年々、有権者数が減少しています。

※令和5年3月1日時点の有権者数は16,486人で、25年で3,759人減少しています。



課題 〈計画(案)策定の理由〉

- ▶多様な投票行動の変化への対応が必要
 - ・期日前投票の増加など有権者の投票行動の変化に追いついていません。
- ▶投票しやすい環境づくりが必要
 - ・段差の多い投票所や暑さ寒さが著しい投票所があります。
- ▶投票立会人の選任などへの対応が必要
 - ・人口減少や働き方の変化により、投票立会人の選任や事務従事者の確保が困難になってきています。

このような背景と課題を踏まえ策定した計画(案)のポイントは次のとおりです。



投票環境整備計画(案) 〈計画(案)のポイント〉

ポイント

01

期日前投票をより利用しやすいようにします。

▶市内商業施設での期日前投票所の開設を進めます。

▶移動期日前投票所の導入を進めます。
(一部山間地域から試験的導入を予定)

移動投票所で、



投票ができます

ショッピングセンターで



ポイント

02

投票日当日は、どの投票所でも投票できるようにします。

▶すべての投票所をオンラインでのネットワーク化し、投票日当日は、どの投票所でも投票ができる「共通投票所」の導入を進めます。

▶投票所を再編し、バリアフリーに対応する施設(段差が少なく空調が整った施設)である次の7か所に集約します。

現状では、

美濃市役所ほか
(全18か所)

計画(案)では、

美濃市役所

洲原防災コミュニティセンター(洲原地域ふれあいセンター)

美濃市定住促進センター(下牧地域ふれあいセンター)

上牧公民館(上牧地域ふれあいセンター)

大矢田公民館(大矢田地域ふれあいセンター)

藍見防災コミュニティセンター(藍見地域ふれあいセンター)

中有知地域ふれあいセンター

※投票所を再編することにより、選挙執行に係る経費の節減が見込めます。(直近の選挙からの試算で約630万円)

ポイント

03

投票所までの「のり愛くん」利用料無料化を拡大します。

▶当日投票所までの移動を支援するため、乗り合わせタクシー「のり愛くん」による無料運行の実施を進めます。